

令和8年度（2026年度）

# 学習内容一覧表 年間指導計画

## 2年

千里わかば学園

豊中市立第八中学校

○学習内容一覧表は、各学年・各教科の1年間の大まかな学習内容がわかる  
ものです。

○年間指導計画は、各学年・各教科の1年間の学習内容と各教科の観点、評  
価材料が書かれています。

これらはいくまで予定案であり、授業の進行や内容は生徒の実情に合わせ、  
変更する場合があります。

第2学年 学習内容一覧表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
国語	名付けられた葉 セミロングホームルーム グループディスカッション	宇宙に行くための素材 人間は他の星に住むことができるのか	手紙・メール 短歌の世界 短歌十首 短歌・俳句	壁に残された伝言 ビブリオバトル	夏 休 み	ビブリオバトル 味は味覚だけでは決まらない プレゼンテーション	枕草子・徒然草 平家物語 漢詩の世界	マンガ 情報の扱い方 一〇〇年後の水を守る 飲み水は不足しているか	水問題に関する資料 投稿文 行書	大阿蘇 小さな手袋 創作文	動物園でできること 論説文	走れメロス 情報誌		
社会	【歴史】 安土桃山時代 【地理】 地域調査の手法 日本の地域的特色と 地域区分	【地理】 九州地方 中国・四国地方	【地理】 近畿地方 中部地方	【地理】 関東地方		【地理】 東北地方	【地理】 北海道地方	【歴史】 江戸時代前半	【歴史】 江戸時代中盤	【歴史】 江戸時代終盤 明治時代	【歴史】 明治時代	【歴史】 大正時代		
数学	第1章 式の計算	第2章 連立方程式		第3章 1次関数		第3章 1次関数	第4章 平行と合同		第5章 三角形と 四角形	第5章 三角形と 四角形	第6章 確率	第7章 データの 比較		
理科	【生命】 1章 生物の体をつくるもの 2章 植物の体のつくりとはらたき 3章 動物の体のつくりとはたらき 4章 動物の行動のしくみ			【物質】 1章 物質の 成り立ち		【物質】 2章 物質の表し方 3章 さまざまな化学変化 4章 化学変化と物質の質量		【地球】 1章地球をとり巻く大気の様子 2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き		【地球】 4章 大気 の動きと日 本の四季界	【エネルギー】 1章 電流の性質 2章 電流の正体 3章 電流と磁界			
音楽	ガイダンス (歌唱)校歌・Myvoice・シャンゼリゼ・夏の思い出・翼をください (器楽)「オーラリー」「カノン」 (鑑賞)フーガト短調					(歌唱)サンタルチア・合唱曲 (器楽)リコーダーサミング・「アニーローリー」「虹の彼方に」 (鑑賞)交響曲第5番 ハ長調・アイーダ・日本の伝統音楽 指揮・西洋音楽史・写譜		(歌唱) 合唱(3年生を送る会、卒業生を祝って) (器楽)リコーダー		春 休 み				
美術	色彩構成(色塗り練習) 鑑賞					デザイン応用 切り絵 鑑賞				切り絵続き 遠近法演習 鑑賞				
保健 体育	集団行動 体カテスト ラジオ体操	球技	水泳	陸上競技		球技	器械運動	長距離 走	長距離走	球技	運 動 や ス ポ ー ツ の 効 果 ・ 学 び 方 ・ 安 全			
技術 家庭	生物育成の技術の原理・法則と仕組み			ルームLEDスタン ド		食生活 ブロッコリースプラウト栽培				調理実習	情 報			
英語	PRO-1 未来表現 (be going to / will) 動名詞 I enjoy ~ ing.	PRO-2 接続詞 I hear (that) ~. When ~, ... If ~, ...	PRO-3 不定詞 want to ~ to+動詞の原形 「~するために」 「~するための…」	OP4 (復習)		RI (復習)	PRO-4 感情の原因を表す不定 詞 be surprised to must / mustn't have to / don't have to	PRO-5 不定詞 (how to) 動詞(lookなど)+形容詞 動詞(giveなど)+人+もの	PRO-6 比較級 最上級 as ~ as ...	R2 (復習)  OP5(復習)	PRO-7 likeを使う比較表現 like ~ the best teachなど+人+how to ~	PRO-8 受け身 be動詞+過去分詞 be動詞+過去分詞+by ~ be known to ~ / be filled with ~	R3 (復習)  OP6(復習)	

第2学年 国語科 年間指導計画

指導目標	(1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。 (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。 (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。
------	--

	単元計画	評価観点(規準等)	評価の場面・方法
1学期	(詩) 名付けられた葉 (小説) セミロングホームルーム (話す聞く) グループディスカッション (読み方を学ぼう) 宇宙に行くための素材 (論説) 人間は他の星に住むことができるのか (書く) 手紙・メール (解説) 短歌の世界 (短歌) 短歌十首 (書く) 短歌・俳句 (報告) 壁に残された伝言 (話す聞く) ビブリオバトル	① 言葉や言語文化についての知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。  ペーパーテスト ノート・レポートの記述
2学期	(話す聞く) ビブリオバトル (論説) 味は味覚だけでは決まらない (話す聞く) プレゼンテーション (古文) 枕草子・徒然草 (古文) 平家物語 (漢文) 漢詩の世界 (解説) マンガ 情報の扱い方 (論説) 一〇〇年後の水を守る (論説) 飲み水は不足しているか (図表) 水問題に関する資料 (書く) 投稿文 行書	② 国語科における思考・判断・表現	論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。  ペーパーテスト ノート・レポートの記述 グループ学習・発表・話し合いの活動
3学期	(詩) 大阿蘇 (小説) 小さな手袋 (書く) 創作文 (論説) 動物園でできること (書く) 論説文 (小説) 走れメロス (話す聞く)(書く) 情報誌	③ 主体的に学習に取り組む態度	言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。  ノート・レポートの記述 授業中の発言 自己評価・相互評価による振り返り

第2学年 社会科 年間指導計画

指導目標	社会的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の形成者に必要な公民としての資質・能力の基礎を次のとおり育成することを旨とする。
------	--

	単元計画	評価観点(規準等)	評価の場面・方法
4	<b>【歴史】</b> 第4章 近世の日本と世界 第1節 中世から近世へ <b>【地理】</b> 第3編 日本のさまざまな地域 第1章 地域調査の手法 第2章 日本の地域的特色と地域区分	① 社会的 事象に ついて の知識 ・技能  我が国の国土と歴史、現代の政治、経済、国際関係等に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめている。	・定期テスト ・単元テスト ・ノート課題 など
5	<b>【地理】</b> 第3章 日本の諸地域-九州地方- 第3章 日本の諸地域-中国・四国地方-		
6	<b>【地理】</b> 第3章 日本の諸地域-近畿地方- 第3章 日本の諸地域-中部地方-		
7	<b>【地理】</b> 第3章 日本の諸地域-関東地方-		
8	<b>【地理】</b> 第3章 日本の諸地域-東北地方-	② 社会科 における 思考・ 判断・ 表現  社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて選択・判断したり、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりしている。	・定期テスト ・単元テスト ・ノート課題 など
10	<b>【地理】</b> 第3章 日本の諸地域-北海道地方-		
11	<b>【歴史】</b> 第4編 近世の日本と世界 第2節 江戸幕府の成立と東アジア		
12	<b>【歴史】</b> 第4編 近世の日本と世界 第3節 社会の変化と幕府政治の改革		
1	<b>【歴史】</b> 第5編 近代の日本と世界 第1章 日本の近代 第1節 欧米における近代化の進展 第2節 近世から近代へ 第3節 近代国家へのあゆみ 第4節 立憲制国家の成立 第5節 日清・日露の戦争と東アジアの動き 第6節 近代の日本の社会と文化	③ 主体的 に学習 に取り組 む態度  「知識・技能」を身につけたり「思考力・判断力・表現力等」を身につけようとする事に向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	・授業ノート ・課題の取り組み など
2	第5章 近代の日本と世界 第2章 二度の世界大戦と日本 第1節 第一次世界大戦と戦後の世界 第2節 大正デモクラシーの時代		
3			

第2学年 数学科 年間指導計画

指導目標	①数量や図形などに関する基礎的な原理・法則についての理解を深める。 ②数学的な表現や処理の仕方を習得させる。 ③事象を数理的に考察する能力を高める。 ④数学的活動の楽しさや数学のよさを実感させる。 ⑤数学を活用して考えたり判断しようとする態度を育てる。
------	--

単元計画		評価観点(規準等)	評価の場面・方法
4	1章 式の計算	①身近な事象についての知識や観察・技能	・数量や図形などについての基礎的な原理・法則などを理解している。 ・事象を数学的に捉え、数学的に表現・処理できる。 ・新しく学習する内容を既習事項と関連づけて、理解を深めたり、技能を習得したりしている。
5	2章 連立方程式		
6			
7	3章 1次関数		
8			
9			
10	4章 平行と合同		
11			
12	5章 三角形と四角形		
1			
2	6章 確率	②数学における思考・判断・表現	・事象を数学的に捉え、数量や図形などの性質を見出して考察し、数学的な表現を用いて明瞭・的確に表現することができる。
3	7章 データの比較		
		③主体的に学習に取り組む態度	・粘り強く学習に取り組み、数学を生活や学習に活かそうとしている。 ・課題解決にむけて前向きに取り組む、多様な考えを認め、協力し高め合おうと努力している。 ・課題解決の過程を振り返って評価・改善し、自らの学習を調整しようとしている。
			・テスト(単元テスト等) ・授業観察
			・テスト(単元テスト等) ・ノート等記述内容 ・授業観察
			・ノート等記述内容 ・振り返りの記述内容 ・授業観察

第2学年 理科 年間指導計画

指導目標	自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探求するために必要な資質・能力を育成する。
------	---

単元計画		評価観点(規準等)	評価の場面・方法
4	【生命】生物の体のつくりはたらき 1章 生物の体をつくるもの	自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探求するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けることができる。	・ペーパーテスト ・ノート記述 ・実験、観察
5	2章 植物の体のつくりとはたらき		
6	3章 動物の体のつくりとはたらき		
6	4章 動物の行動のしくみ		
7	【物質】化学変化と原子・分子 1章 物質の成り立ち		
9	2章 物質の表し方		
10	3章 さまざまな化学変化	② 理科における思考・判断・表現 観察、実験などを行い、科学的に探求する力を養うことができる。	・ペーパーテスト ・ノート記述 ・レポート作成 ・グループ学習
10	4章 化学変化と物質の質量		
11	【地球】地球の大気と天気の変化 1章 地球を取り巻く大気の様子		
12	2章 大気中の水の変化 3章 天気の変化と大気の動き		
1	4章 大気の動きと日本の四季	③ 主体的に学習に取り組む態度 「知識・技能」を身につけたり「思考力・判断力・表現力等」を身につけようとする事に向けた粘り強い取り組みを行うとともに、自らの学習を調整しようとしている。	・ノート記述 ・レポート作成 ・授業時の発言、行動 ・振り返り ・単元テスト/小テスト
2	【エネルギー】電流とその利用 1章 電流の性質		
3	2章 電流の正体 3章 電流と磁界		

第2学年 音楽科 年間指導計画

指導目標	音楽を形づくっている要素に着目し、曲想との関わりについて考えながら、歌唱・器楽・鑑賞の活動を通して表現を工夫し、音楽のよさや美しさを味わうとともに、主体的に音楽活動に取り組む態度を育てる。
------	--

	単元計画	評価観点(規準等)	評価の場面・方法
4月 5月 6月 7月	ガイダンス 校歌 Myvoice シャンゼリゼ 夏の思い出 翼をください 「オーラリー」 「カノン」 フーガト短調	① 音楽的活動についての知識・技能 曲想と音楽の構造や背景などの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けられる。	・定期試験 ・実技試験 ・提出物
8月 9月 10月 11月 12月	サンタルチア 合唱曲 リコーダーサミング 「アニーローリー」 「虹の彼方に」 交響曲第5番ハ長調 アイーダ 日本の伝統音楽 指揮・西洋音楽史・写譜	② 音楽科における思考・判断・表現 音楽表現を創意工夫することや、音楽のよさや美しさを味わって聴くことができる。	・定期試験 ・実技試験 ・提出物
1月 2月 3月	合唱(3年生を送る会、卒業生を祝って) リコーダー	③ 主体的に学習に取り組む態度 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情を育むとともに、音楽に対する感性を豊かにし、音楽に親しんでいく態度を養い、豊かな情操を培うことができる。	・振り返り ・提出物

第2学年 美術科 年間指導計画

指導目標	表現及び鑑賞の幅広い活動を通じて、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
------	--

学習計画		評価にあたって	
時期	単元計画	評価観点(規準等)	評価の場面・方法
4月 5月 6月 7月	色彩構成(色塗り練習) 鑑賞	① 創造的 活動に ついて の知識 ・技能  ・表現及び鑑賞の幅広い活動を通じて、 知識や技能を身に付けることができている。  ・感性や造形感覚などを働かせて、意図 に応じて表現方法などを創意工夫し創造 的に表すことができている。  ・指示の通りに材料や道具を使いこなす ことができている。	提出物(作品・プリント)、 定期テストなど
8月 9月 10月 11月 12月	デザイン応用 切り絵 鑑賞	② 美術科 におけ る思考 ・判断 ・表現  ・感性や想像力を働かせて豊かに発想 し、よさや美しさなどを考え心豊かで創造 的な表現の構想を練っている。  ・感性や想像力を働かせて、美術作品な どからよさや美しさなどを感じ取り味わっ たり、美術文化を理解したりしている。	提出物(作品・プリント)、 定期テストなど
1月 2月 3月	切り絵続き 遠近法演習 鑑賞	③ 主体 的に学 習に取 り組む 態度  ・遅刻・忘れ物がなく授業に出席し、提出 物などを出すことが出来ている。  ・主体的に表現や鑑賞の学習に取り組も うとしている。	毎回の授業態度、 ファイル、 提出物(作品・プリント)、 振り返り、 スケッチ、など

第2学年 保健体育科 年間指導計画

指導目標	心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康を保持増進し、豊かなスポーツライフを実現するための資質・能力を育成する。
------	--

単元計画		評価観点(規準等)	評価の場面・方法														
4 5 6 7 8 9 10 11 12	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">体育</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">保健</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">体づくり運動 集団行動</td> <td rowspan="10" style="text-align: center; vertical-align: middle;">運動やスポーツの効果・学び方・安全  生活習慣の健康への影響  けがの防止と応急手当</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">新体力テスト</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">ラジオ体操</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">球技</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">水泳</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">陸上競技</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">球技</td> <td style="text-align: center;">器械運動</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">陸上競技 長距離走</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">球技</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> </table>	体育	保健	体づくり運動 集団行動	運動やスポーツの効果・学び方・安全  生活習慣の健康への影響  けがの防止と応急手当	新体力テスト	ラジオ体操	球技	水泳	陸上競技	球技	器械運動	陸上競技 長距離走	球技		<p>① 運動や健康・安全に関する知識・技能</p> <p>・運動の特性に応じた技能等及び個人生活における健康・安全について理解するとともに、基本的な技能を身に付けている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆記試験</li> <li>・プリント</li> <li>・実技試験</li> </ul>
	体育	保健															
	体づくり運動 集団行動	運動やスポーツの効果・学び方・安全  生活習慣の健康への影響  けがの防止と応急手当															
	新体力テスト																
	ラジオ体操																
	球技																
	水泳																
	陸上競技																
	球技		器械運動														
	陸上競技 長距離走																
球技																	
1 2 3	<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">陸上競技 長距離走</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">球技</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> </table>	陸上競技 長距離走	球技					<p>② 保健体育科における思考・判断・表現</p> <p>・運動や健康についての自他の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実技試験</li> <li>・筆記試験</li> <li>・プリント</li> <li>・振り返り</li> <li>・提出物</li> <li>・発表</li> </ul>								
	陸上競技 長距離走	球技															
<table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; text-align: center;">陸上競技 長距離走</td> <td style="width: 50%; text-align: center;">球技</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"> </td> <td style="text-align: center;"> </td> </tr> </table>	陸上競技 長距離走	球技					<p>③ 主体的に学習に取り組む態度</p> <p>・生涯にわたって運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かな生活を営む態度を養うことができる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業の課題に対する達成度</li> <li>・振り返り</li> <li>・調べ学習</li> <li>・プリント記述</li> <li>・発表</li> </ul>									
陸上競技 長距離走	球技																

第2学年 技術家庭科 年間指導計画

指導目標	<p>・もの作りを通して、工夫し創造する能力を育てる。          食生活や消費生活についての理解を深め、家庭生活においてもそれを実践する能力を育てる。</p>
------	---

単元計画		評価観点(規準等)	評価の場面・方法
4	生物育成の技術の原理・法則と仕組み 動物・植物・水産生物	① 生活の営みや技術についての知識・技能	生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けることができている。  ・単元テスト ・ノート記述
5			
6	LEDスタンド製作		
7	食生活 食事の役割	② 技術・家庭科における思考・判断・表現	生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養うことができている。  ・単元テスト ・ノート記述
9	食生活 栄養素の種類と働き		
10			
11	【調理実習】 実習の準備		
12	【調理実習】 食生活の実習	③ 主体的に学習に取り組む態度	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養うことができている。  ・ノート記述 ・振り返り
1	生物育成実習(ブロッコリースプラウト)		
2			
3			

第2学年 英語科 年間指導計画

指導目標	外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を育成する。
------	---

	単元計画	評価観点(規準等)	評価の場面・方法		
4	1、New Start (1) 未来表現 be going to (2) 未来表現 will (3) 動名詞 I enjoy ~ing.	① 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどを理解することができる。 ② ①の知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身につけることができる。  ② 外国語における思考・判断・表現	・定期テスト ・確認テスト ・小テスト ・音読チェック ・スピーチ		
5	2、Koshien project in Africa (1) 接続詞 I hear (that) ~. (2) 接続詞 When ~, ... (3) 接続詞 If ~, ...				
6	3、Taste of Culture (1) 不定詞 want to ~ (2) to + 動詞の原形「~するために」 (3) to + 動詞の原形「~するための…」				
7	OP4、海外でヒットするラーメンのCMを作ろう(復習)				
8	R1、The Three Dolls (復習)				
9	4、Leave Only Footprints (1) 感情の原因を表す不定詞 be surprised to (2) must, mustn't			① コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题について、外国語で簡単な情報や考えなどを理解することができる。 ② ①を活用して表現したり伝え合ったりすることができる。	・定期テスト ・確認テスト ・小テスト ・表現活動 (ライティング・スピーチ・やり取りを中心としたスピーキングなど)
10	5、Work Experience (1) 不定詞 how to ~ (2) 動詞(lookなど) + 形容詞[名詞] (3) 動詞(giveなど) + 人 + もの				
11	6、High-Tech Nature (1) 比較級 ~er than ... / more ~ than (2) 最上級 the ~est / the most ~ (3) as ~ as ... / not as ~ as ...				
12	OP5、日本のおすすめスポットを紹介しよう(復習)				
	R2、Friendship beyond Time and Borders (復習)				
1	7、Unique Animals (1) likeを使う比較表現 (2) like ~ the best (3) teachなど + 人 + how to ~	③ 主体的に学習に取り組む態度	・振り返り ・調べ学習 ・提出物		
2	8、A Hope for Lasting Peace (1) 受け身 be動詞 + 過去分詞 (2) be動詞 + 過去分詞 + by ... (3) be known to ~ / be filled with ~				
3	OP6、My Heroの魅力伝えよう(復習)				
	R3、Apollo 13 (復習)				
	R:Reading OP:Our Project その他の項目についても適宜取り扱う。				